

研究課題名	高齢者における早期胃癌に対するESDの偶発症発生後の転帰
研究の意義・目的	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は、高い根治性を有する低侵襲治療として、広く普及しています。ESDの偶発症（合併症）として後出血や穿孔があります。患者様の高齢化に伴い様々な呼吸器・循環器疾患など、重篤な併存疾患を有する方などが増加してきています。高齢者の患者様においては、偶発症の発生を契機に重篤な経過をたどることも少なくありません。しかしながら、未だその予防法や対処法は確立されておりません。そこで、早期胃癌に対するESDの「偶発症発生後の転帰」および「偶発症発生後のイベント発生の危険因子」を明らかにすることで、今後の内視鏡治療の発展に貢献できるものと考えます。
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2004年4月1日～2019年7月31日までの間に、大阪市立大学医学部附属病院で早期胃癌に対してESDを施行された患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、BMI、内服歴、既往歴、基礎疾患、内視鏡所見、内視鏡手術所見、病理結果、合併症、入院期間】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 病院講師 大南 雅揮
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 大南 雅揮 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813 E-mail ominami@med.osaka-cu.ac.jp